



大分こども心理療育センター  
愛育学園はばたき

# 開設10周年 記念広報誌

はばたきだより 第10号



2025年4月発行



## 寄付・ボランティアへのご協力 ありがとうございました!!

本年度、寄付金・寄贈品・ボランティア等にご協力下さいました皆様をご紹介します。〔順不同・敬称略〕

### 音楽ボランティア

● 田口 千里 ● 生田 純子 ● 阿部亜紀子 ● 生田 明奏

### その他ボランティア

● 佐古 健二(美容室gic代表) ● 甲斐 博子(生活支援ボランティア)

### 特別活動主催

● 大分1985ロータリークラブ ● SUNRISE CAFÉ

### 寄付

● 公共社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 ● 明治安田生命  
● 一般財団法人 篠原欣子記念財団 ● 大分銀行労働組合 ● 大分県畜産協会  
● 大分県農業共済組合 ● 大分県連合みどり会 ● 大分1985ロータリークラブ  
● むぎの会(NPO法人) ● 九州納豆組合 ● NHK歳末助け合い募金 ● ラクテンチ  
● ドミノピザ ● 上村 貴子 ● 友岡 郁夫・紀子 ● 上遠野 優歌(元はばたき職員)  
● 野内 早紀(元はばたき職員) ● はばたき職員

### 編集後記

「開設10周年記念広報誌」を刊行するにあたり、様々な活動写真やデータを収集し、整理していく過程において、強く感じたことがあります。それは、ボランティアで携わってくださった皆様や地域の方々、各関係機関のお力添えがあったからこそ、今日の「愛育学園はばたき」があるということです。

こうした皆様のご協力は、「はばたき」の由来でもあります。心理療育を受ける子どもたちが、自信を回復し、ひとを心から信頼し、自らが希望

する未来に向かって勇気をもって大きくはばたくための一助となっていると思います。

今後においても、皆様の更なるご協力を頂きながら、子どもたちが健康で、大きくはばたいていけるように、さらに精進して参りたいと思います。

「開設10周年記念広報誌」の刊行にあたり、ご協力を頂きました関係者の皆様、そして広報委員及び様々な協力をして頂いた職員には敬意と感謝の意を表したいと思います。

広報委員長 黒木 亮汰



社会福祉法人藤本愛育会

大分こども心理療育センター 愛育学園はばたき

〒870-0948 大分県大分市芳河原台11番29号

TEL (097)578-7755 FAX (097)578-7756

<http://www.oita-kodomo.net/habataki/>





理事長挨拶

理事長 藤本 保

## はばたき学園のこれから

十年ひと昔といいますが、あつという間の十年間でした。そして、この十年間にはいろいろなことがありました。開設前に県の担当者と一緒に某施設に視察に行かせていただきました。その時にその施設の施設長さんがおっしゃられたことが鮮明に記憶に残っており、まさにその通りの十年間であつたなと感慨深く思い出されます。これまでの十年間のことは毎年発行された「はばたきだより」に記録されていますので、これからの十年間を見据えた希望を述べてみたいと思います。

現在の子どもを取り巻く環境は改善するでしょう。少子化は国の予想を超えて進行しているように感じます。子ども虐待と不登校はすごい勢いで増加しています。対策は講じられています。即効的に功を奏することは期待できません。子どもにとって生きやすい環境を整えるあらゆる努力が求められています。しかし、それらの努力が功を奏しても、残念ながら一定の割合で社会の歪により犠牲となる子どもが生じるでしょう。不幸にも健やかな成長が妨げられた子どもたちに、まず整えるべきことは「安心」「安全」「信頼」の環境であると思っています。子どもは、本来、「親・家族」が子どもの絶対的安心・安全基地であり、絶対的信頼関係の下、自由に伸び伸びと育つものです。子どもの

ては親・家族のみで行うものではありません。親・家族を地域・国家が支援し、すべての国民が積極的に子どもの成育を担うことが必要です。それが可能な社会であらねばなりません。子ども家庭庁に期待するところ大であります。今一度「はばたき」の使命を再確認したいと思っています。児童福祉法に示されている心理治療施設は心理的問題を抱える子供とその家族を対象に、医療的視点を持った生活支援を基盤とした心理治療を中心に学校教育との緊密な連携による総合的な治療・支援を行う施設と定義されています。「はばたき」はこの十年間で、子どもたちへの社会的養護という点では基礎固めはできたと思っております。今後注力すべきことに家族支援を第一に取り上げねばなりません。しかし、これは我々だけでは到底十分なことではできません。児童相談所をはじめ関連する機関とともに地域の方々の支援が必要です。ありがたいことに我々の存在が地域に認められつつあり、多くの支援をいただいています。

大分こども心理療育センター愛育学園はばたきは、開設から十周年を迎えました。これも多くの方々のご支援やご指導があつたことと深く感謝しております。これまでに百十人が入所し、九十一人がはばたきを飛び立っていきました。子どもたちにとって、家に帰ることがなによりですが、様々な事情があつて家庭に戻れたのはそのうちの四分の三程度で、残りの多くは児童養護施設等に引き取られていきました。これまで、はばたきを退所していった子どもたちをたくさん見てきましたが、元の環境に戻ったときに崩れてしまったり、新しい環境になじめず居場所をなくしたりした子どももいました。はばたきで長い期間頑張っていた姿を見ていたからこそ心が折れる思いもしました。そんななか、新たな環境で頑張っている子どもたちもいます。その子どもたちがいるおかげで職員たちも元気をもらっています。そんな子どもたちのおかげで、今、はばたきにいらる子どもたちにも力を注ぐことができます。支援を必要とする子どもたちの未来のために、一人でも多くの子どもたちが家族の元に戻るよう、全力を尽くしていきたいと考えています。これからも、はばたきがたくさんの笑顔であふれますように。



施設長挨拶

施設長 宇野 敬三

## はばたき十一年目に向けて

愛育学園はばたき  
基本理念

- 1 児童の人権を尊重し、児童の最善の利益を最優先した支援を行う。
- 2 児童一人ひとりをかけがえのない存在として大切にし、愛情に満ちた一貫性のある支援を行う。
- 3 児童と保護者に安心と安全を提供し、信頼と絆を深めながら「協働子育て」を行う。

## 沿革

平成  
20年

- 6月 ▶ 県へ「情緒障害児短期治療施設」の整備計画提出  
10月 ▶ 大分こども発達支援センター内に情短開設準備室を設置

平成  
25年

- 5月 ▶ 施設建設用地確保  
10月 ▶ 県へ社会福祉施設等整備調書の提出

平成  
26年

- 3月 ▶ 第5回理事会にて、施設の名称を「大分こども心理療育センター愛育学園はばたき」と決定  
6月 ▶ 建設工事起工式

平成  
27年

- 4月 ▶ 開所

平成  
29年

- 4月 ▶ 児童福祉法改正により「児童心理治療施設」に変更



はばたき分校は、小学部と中学部からなり十四名の教職員が日々教育活動を行っています。私たちは、様々な背景を抱えながら「愛育学園はばたき」に入所してきた児童・生徒に対して安心・安全な学びの場を提供しながら、学力保障を行い、学校教育目標である「自分に自信をもち、たくましく生きぬく児童生徒の育成」をめざしています。

教育活動を行うにあたって特に大切にしていることが児童・生徒一人ひとりをアセスメントすることです。朝の打ち合わせ、放課後の連絡会で、児童・生徒をきめ細かくアセスメントし、次に備えて準備していく毎日です。私たちの情報は、「愛育学園はばたき」に共有され、分校と学園が両輪となって活動しています。



## 「はばたき分校の役割」

数戸小学校はばたき分校・植田東中学校はばたき分校

教頭 後藤 憲治

はばたき分校の授業は、「めあて」「ながれ」をしめし、「めあて」を達成したら称賛しながら進めています。特にICT機器も重要なアイテムになっています。さらに、分校では、自尊心を高めようと「縦割り班活動」を取り入れ、リーダーの育成をすすめています。小学六年生・中学三年生も自分の役割を自覚し、班員を牽引しています。こうした活動を毎日繰り返しながら、子どもたちの成長を見守っている毎日です。

はばたき分校から旅立っていく子どもたちを分校の玄関で見送ったとき、「がんばれ、強く生きてほしい」と願います。そしてまた、新しい子どもたちを受け入れていきます。



## 自分に自信をもち、たくましく生きぬく児童生徒の育成

### めざす児童生徒の姿

#### 自信を持つ児童生徒

自分のめあてをもち、進んで学習に取り組むことができる。

自分のよさを知り、なりたい自分をえがくことができる。

#### たくましい児童生徒

自分の心の状態と向きあい、気持ちをコントロールすることができる。

たくましく生きぬくための力を身につける。

#### 生きぬく児童生徒

自分の困りを自覚し、必要な手助けを求めることができる。

場に応じたコミュニケーションスキルを身につける。

## 年度毎入退所児童一覧

| 年度  | 入 所 |    |     | 退 所 |    |    | 退所先 |      |      |            |
|-----|-----|----|-----|-----|----|----|-----|------|------|------------|
|     | 男   | 女  | 計   | 男   | 女  | 計  | 家庭  | 施設養護 | 家庭養護 | その他        |
| H27 | 12  | 10 | 22  | 2   | 5  | 7  | 4   | 2    | 1    | 0          |
| H28 | 5   | 4  | 9   | 5   | 2  | 7  | 3   | 4    | 0    | 0          |
| H29 | 7   | 1  | 8   | 8   | 2  | 10 | 7   | 3    | 0    | 0          |
| H30 | 8   | 3  | 11  | 6   | 5  | 11 | 5   | 5    | 1    | 0          |
| R1  | 7   | 5  | 12  | 7   | 2  | 9  | 3   | 6    | 0    | 0          |
| R2  | 9   | 0  | 9   | 7   | 1  | 8  | 3   | 5    | 0    | 0          |
| R3  | 7   | 5  | 12  | 7   | 5  | 12 | 2   | 9    | 1    | 0          |
| R4  | 5   | 4  | 9   | 2   | 4  | 6  | 2   | 3    | 1    | 0          |
| R5  | 6   | 1  | 7   | 9   | 3  | 12 | 4   | 7    | 0    | 1<br>(学生寮) |
| R6  | 8   | 3  | 11  | 6   | 3  | 9  | 3   | 4    | 1    | 1<br>(学生寮) |
| 計   | 74  | 36 | 110 | 59  | 32 | 91 | 36  | 48   | 5    | 2          |

## 職種・職員数

|    | 職 種       | 職員数(非常勤) |      |
|----|-----------|----------|------|
|    |           | H28      | R6   |
| 1  | 施 設 長     | 1        | 1    |
| 2  | 医 師       | (4)      | (3)  |
| 3  | 心理療法担当職員  | 4(1)     | 6(1) |
| 4  | 看 護 師     | 1        | 1    |
| 5  | 児童指導員・保育士 | 9        | 12   |
| 6  | 個別対応職員    | 1        | 1    |
| 7  | 家庭支援専門相談員 | 1        | 1    |
| 8  | 事 務 員     | 2        | 2    |
| 9  | 栄養士・調理員   | 2(5)     | 2(5) |
| 10 | 小規模グループケア | 2        | 2    |
| 11 | 管理宿直      | (6)      | (8)  |



## 施設紹介

正 門



交流センター



家族室



ユニット



厨房



心理検査室



## 10年目職員からの言葉

課長 倉掛 智徳

2025年より開所した愛育学園はばたきも、2025年3月で満10年を迎えます。思い起こせば、2015年4月。開所当初は右も左もわからず、施設の運営も児童の対応も試行錯誤の連続でした。職員も日々の業務に追われ、手探りで支援を続ける毎日。入所する児童が増える一方で、環境の変化に対応しきれず、退所する児童や職員も多くいました。しかし、2～3年が経過すると少しずつ施設の運営が安定し、経験を積んだ職員たちが支援の質を向上させるべく努力を重ねてきました。

この10年間で、はばたきは「子どもたちが安心して過ごせる場所」としての役割を確立してきました。日々の支援を積み重ねる中で、子どもたちが成長し、次のステップへ進んでいく姿を見ることが、私たち職員にとって何よりの喜びです。時には難しい場面や課題に直面することもありましたが、一人ひとりに寄り添い、共に歩むことを大切にしながら、ここまで歩んできました。

また、施設を支えてくださる多くの方々とつながりも深まりました。関係機関との連携を強めることで、子どもたちが施設を退所した後も安心して生活できる環

境づくりに努めてきました。こうした積み重ねが、はばたきに関わるすべての人々にとって、より良い未来につながることを願っています。

そして、これからの10年。時代の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わっていきます。支援のあり方も、より柔軟で、今まで以上に一人ひとりに寄り添ったものが求められるようになるでしょう。私たちはこれまでの経験を生かしながら、引き続き子どもたちが安心して成長できる環境を提供できるよう努めてまいります。

また、職員一人ひとりが、これまで以上にやりがいを持って働ける環境づくりも重要です。子どもたちの支援は、職員の安定した働き方と密接に関わっています。チームとしての連携を深めながら、より良い支援を実現するために、職員の育成や働きやすい環境づくりにも力を入れていきます。

これまで支えてくださった皆様への感謝の気持ちを胸に、これからの10年も、子どもたちの未来のために歩みを止めることなく挑戦を続けてまいります。

係長 三重野 貴裕

愛育学園はばたきも今年で10年目となり、施設内の備品や設備も修理や買い替えをすることが多くなりました。

私も、「もう壊れたのか」と思っていたのですが、10年経過したことを知ると、もうそんなに時間が流れているのかと思い知らされます。はばたきは、これまで多くの

児童が入退所しました。中には良い別れ方ができなかった児童もいましたが、その経験や反省が今の私を作り上げているのも事実です。開所時は1番年下でしたが、今は係長となり後進育成に力を入れています。いい意味での世代交代をして、11年目からは、若手を中心となっ

てはばたきを盛り上げていってほしいと考えています。

経理・事務 高橋 千恵美

10年前、愛育学園はばたきの立ち上げメンバーとして選ばれた時は、不安と期待が入り混じる気持ちでした。総務事務を一手に任されましたが、大分県で初の児童心理治療施設であったため、制度や措置費について右も左も分からず毎日が手探り。それでも、「子どもたちのために」という一心で、事業が円滑に行えるように必死で走り続けてきました。

開所日、さまざまな症状を抱えた子どもたちが次々と入所し、慣れない職員たちは戸惑いながらも懸命に対応していました。職員は暴言や暴力が激しい子どもたちへの対応に疲弊し、時には怪我をすることもありました。はばたき開所2ヶ月目に女子棟は1名を残し、その他女子全員の緊急措置変更があり、開所3ヶ月目から職員の退職と休業が続きました。はばたき

の未来が想像できない時期でした。男子棟も女子棟も職員が足りず、私自身も昼は事務作業、夕方から生活支援の勤務に入り、子どもたちと一緒に過ごす時間も多かったことを思い出します。

あれから10年。職員体制も整い、はばたきはたくさんの方々に支えていただきながら成長してきました。今では事務の仕事に専念する日々です。気づけば、子どもたちと一緒に遊んだり、ご飯を食べたりする機会も少なくなり、少し寂しさを感じることもありますが、はばたきに響き渡る子どもたちと職員の笑い声を聞くたびに、心が温まるような気持ちになります。

これからも、はばたきが子どもたちにとって安心できる場所であり続けられるよう努めて参りたいと思います。





## 心理療法担当職員 田村 日奈子

子どもたちと関わる中で、様々な難しさを感じることもあります。日々、自分の至らなさを痛感しています。中でも、最も大切にしているのは、子どもたちの気持ちをまずしっかり聞くことです。時間に制限があったり、子ども同士のトラブルの際は難しい場合もありますが、まずは彼らの感情に寄り添い、理解することを心がけています。そうすることで、子どもたちは自分の気持ちを表現しやすくなり、子どもの考えを職員側が理解することができるようになると思っています。

子どもたちの起こした行動を頭ごなしに否定することは避けたいと考えています。子どもたちはそれぞ

れ異なる背景や思いを持っているため、その気持ちを無視して指導することはせず、まずは話を聞き、どのように解決していくかを一緒に考えることが大切だと考えます。このようなアプローチを通じて、信頼関係を築き、子どもたちに寄り添いながら成長を見守っていきたいと考えます。

特技 バドミントン

今年始めたこと 温泉に通うこと、ホットヨガ

好きなキャラクター ちいかわのモモンガ、  
ポムポムプリン、ポチャッコ



## 心理療法担当職員 玉城 菜穂

今年度から心理職員として入職しました。日々、子どもたちと関わる中で、子どもと対話を重ねることの難しさやもどかしさを実感しながらも、たくさんのことを学ばせていただいています。子どものちょっとしたずつの変化に一喜一憂する毎日が苦しくも楽しく、充実感を抱きながら働かせていただいております。

社会人としても、専門職としても、まだまだ未熟であり、至らなさをを感じる瞬間が多くありますが、今後とも全力で子どもたちに向き合い、共に成長していきたいと思っています。

趣味 音楽鑑賞

好きな食べ物 卵料理



## 心理療法担当職員 馬崎 朋香

管理宿直として働かせていただいていたのですが、今年度から心理職員になりました。新社会人として、専門職として、毎日たくさんのことを学ばせていただき、充実感を抱いています。

子どもと関わる中でももちろん楽しいこともたくさんありますが、頭を悩ませることも多く、特に子どもの言動の真意を探ることの難しさを感じています。子どもの言動の意味を表面的に受け取るだけでなく、その真意を児童の成育歴や過去の経験と照らし合わせ、自分なりに解釈する必要があると思いますが、経験の浅さ故に解釈や理解が浅いため難しさを感じています。

しかし、子どもも自分の気持ちを分かってほしいとずっと思っているだろうし、気持ちを理解できてようやく信頼関係が生まれると思うので、子どもの気持ちをどこまでも理解する姿勢を忘れることなく、専門職としての技術を高めながら、子どもと信頼関係を築いていきたいです。

趣味 音楽を聴く、  
美味しいものを食べる

特技 ソフトテニス

好きなアーティスト JO1



## 保育士 芝崎 恭平

私は、昨年の4月より保育士として入職しました。前職も児童福祉分野で働いていました。入所施設というと私の中であまり良い印象はなかったのですが、はばたきでは、職員と児童との関係性も良く、元気で明るくとても良い雰囲気で生活していることに驚きを感じました。入職して間もない私にも子どもたちは気さくに声を掛けてくれたり、遊びの輪に誘ってくれたりして関係性を築くのに時間はあまりかかりませんでした。そんな明るい子どもたちですが、一人一人さまざま問題を抱えて入所しています。自身の問題もありますが、保護者の養育問題など自身で頑張っても解決できないケースがあることを知りました。入所期間中に職員として求め

られることも多く、思い通りにはいかない大変な仕事と思いますが、子どもたちの大切な時期を預かり、退所後の人生がより良い方向に進めるよう職員全員で支援にあたるはばたきの職員は素敵だなと感じました。

趣味 ゴルフ、ゲーム

特技 DIY 好きな食べ物 メロン

好きなアーティスト MAN WITH A MISSION

好きな言葉 和

今年始めたこと 二児の父として子育てに奮闘しています。



## 保育士 丹生 美優

仕事をする上で自分が大切にしたいと思うことは、職員であっても、友達のような距離感であることです。生活職員はどうしても指導場面が多く、子どもとの関係性を作ることが難しいですが、子どもが相談したい、話したいという風に思ってくれるよう、毎日の子どもとのやり取りの中で関係性を作っていきたいです。

職員によって、子どもとの関わり方は全く違い、自分がしている支援が子どものためになっているのかと迷ってばかりの日々です。周りの職員を真似て子どもと関わっても、自分らしくなく、やっていてきつと感じ、その時に自分らしい子どもとの関わり方

が大切だと強く感じました。周りからのアドバイスをもらいながら私らしく、楽しみながらこれからもたくさん関わって信頼関係を作っていこうと思います。



趣味 ドライブ、お花見、紅葉狩り

飼っていた生き物 トカゲ・おおきなカエル・小さいフグ

## 主任管理栄養士 大土 ほの香

栄養士として子どもと関わっていく中で、食支援の難しさを感じています。

さまざまな背景を持って入所して来た子どもたちに対して、今の自分にできる支援は何か、日々模索しながら業務に就いています。

入所時に、子どもの好きな食べ物を聞く、献立についての意見を聞く等から始め、各ユニットに出向いた際に食に関わる会話をし、子ども側から話しかけやすい職員になれるように心掛けています。しかし、会話をする際には違和感がなくとも、実際に食事の場面を見ると、喫食量の多寡や食事のマナー等、多様な食事の課題が見えてきます。一人一人にしっかりと向き合い、退

所後を見据えた食支援を行うことが理想的ですが、思うようにいかず自分の技量の低さを痛感しています。

日々大変なことも多いですが、子どもの「美味しかった」の一言で救われることがたくさんあります。これからも、子どもが安心・安全だと思えるような美味しい食事を提供していきたいです。

趣味 旅行、ライブ

好きな食べ物 親子丼

好きなアーティスト 猫戟

好きなキャラクター マリオ





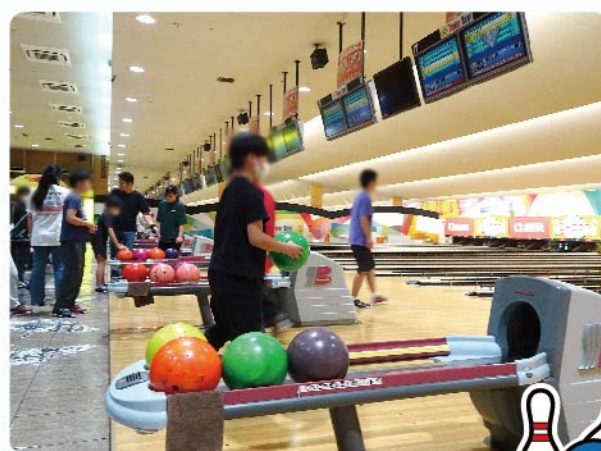
# 令和6年度 はばたきの年間行事

今年度は地域の方との交流やたくさんの園外活動に参加してきました！

## 園外活動



地域の方と交流しました★



イルカのショーも見たよ♪



ロータリークラブの方と  
いちご狩りしたり  
宇佐神宮を参拝したり  
しました！



## 園内行事

季節のイベントがたくさんありました！  
ほんの一部ですが紹介します♪

桜もち作り



BBQ



手持ち花火



緑日



ハロウィン



ふれあい運動会(分校行事)



クリスマス会(音楽)



クリスマス会(ダンス)

